



たつの・綾部山梅林

西日本有数の梅の名所、綾部山梅林（たつの市御津町黒崎）で、紅白の花が見頃を迎えた。播磨灘を望む丘陵地が春色に染まり、来園者は壮大な眺めを楽しんでいる。

梅林は1968年から植樹を始めた。現在は約24畝に10品種約8千本が植わり、初夏には果実を加工用に出荷している。

梅林を管理する黒崎梅園組合によると、全体の約7割を占める「玉英」は、冬場の冷え込みの影響などで例年より1週間ほど開花が遅れたが、先週の陽気で一気に満開になったという。

同組合の永野政幸組合長（73）は「週末は雨の予報。花が散ってしまわないか心配だが、それまで鮮やかな景色を満喫してほしい」と話していた。

21日まで開園。午前9時～午後5時。高校生以上500円、小中学生400円。同組合 ☎079・322・3551（辰巳直之）

紅白の梅で春色に染まった綾部山梅林 14日午前、たつの市御津町黒崎

小屋の中で育つ子ヒツジたち=神戸市立六甲山牧場



全国各地で桜の開花ラッシュー。春の訪れです。4つの記事にメインの見出しを付けてみましょう。「春」という言葉を入れて、6~12文字程度で考えましょう。

神戸・六甲山牧場



神戸市立六甲山牧場(同市灘区六甲山町)で、ヒツジのベビーラッシュを迎えている。子ヒツジたちは母親にくっつきながら小屋の中をせわしなく動き回り、すくすく育っている。

同牧場は現在、約140頭のヒツジを飼育。日中は23畝の敷地内に放牧し、来場者が直接触れ合える。例年、赤ちゃんは40頭ほどの出産を見込んでおり、15日までに26頭が誕生した。

飼育施設「めん羊舎」にいる子ヒツジは、親ヒツジのまねをして草をはんだり、鳴き声を上げたりと元気いっぱい。母親の背中に乗って眠るなど、愛らしい姿も見せている。

子ヒツジのお披露目は19日を予定。屋外での放牧の日程は同牧場ホームページで知らせる。入場料は高校生以上500円、小中学生200円。午前9時~午後5時。火曜休み。同牧場 ☎078・891・0280

(風斗雅博)

なまえ【 】

NIEワークシート/小学校中学年~高校生



観潮船のそばで豪快な
白波を立てる渦潮＝鳴
門海峡(大鳴門橋管理
用通路から許可を得て
撮影)



動画は
コチラ

鳴門海峡

南あわじ市と徳島県鳴門市の間にあ
る鳴門海峡で、春の渦潮観光が最盛期
を迎えている。大潮時には、ごう音を
鳴らし、白波を立てる大きな渦がいく
つも現れ、観潮船の乗客らを楽しませ
ている。

淡路島と四国に挟まれ、幅1・3キロ
とポトルネックのようになっていた同
海峡。最深部は90メートルに達する独特の地
形と、潮の干満による潮流で渦潮は発
生する。春と秋は大潮時の潮の流れが
速く、渦も大きくなりやすいという。
日中の干潮、満潮の時間帯を中心に
両市から観潮船が出港。乗客の家族連
れらは、自然が生み出す迫力満点の光
景に歓声を上げ、盛んにカメラのシャ
ッターを切っていた。(長嶺麻子)

自身の番号を見つけ、喜び合う生徒ら＝17日午前、神戸市長田区池田谷町2、長田高校



兵庫県内の公立高校で17日、2023年度一般入試の合格発表があった。掲示板に自分の受験番号を見つけた生徒たちは、友人や保護者と抱き合ったり喜び、高校生活に胸を膨らませた。一般入試は10、11日であり、全日制は2万2567人、定時制は804人が受験した。神戸市長田区の長田高校では、定員280人に317人が受験し、倍率は1.13倍。午前10時前、掲示板が並んだ中庭に生徒たちが集まり、胸に手を当てたり、保護者に背中をさすられたりしながら、発表の時間を待った。

5、4、3、2、1…。

県立高校で合格発表

職員のカウントダウンで、合格者の番号を書いた紙が広げられた。「あった!」。友が丘中学校(神戸市須磨区)を卒業したばかりの横田大翔さん(15)と稲森輝さん(15)は歓喜の声を響かせた。

2人は、小学校入学前からの幼なじみ。クラス委員の重責に押しつぶされそうになっても、一般入試直前の模試が振るわなくても、お互いの努力を知っているからこそ、心の底から励まし合えた。共に合格を見届けると「本当に頑張ってきたよかった」と声を震わせてたたえ合った。

(大橋凜太郎)



★厳しい冬の後を訪れる、うららかな春一。
新聞は「歳時記」の役目も果たしています。